

## 埼玉県熊谷市

# 人口減少の歯止めと市の魅力向上を目指した ワーク・ライフ・バランスの推進

### ● 取組のポイント

- 市内の祭・イベント等を活用し、年次有給休暇の取得促進を始めとしたワーク・ライフ・バランス向上の取組を推進し、市内事業所で働くことの魅力を高める

## 1. 取組のきっかけ

- 熊谷市では、大学進学や就職をきっかけにした20～30代の若者の転出が多いこと等の影響を受け、平成12年の206,446人をピークに人口減少が進んでいる。市では人口減少に歯止めをかけるとともに、産業やスポーツといった熊谷市が持つ「強み」を生かした魅力的なまちづくりを進めるために、平成28年3月に「熊谷市総合戦略」を策定した。
- 「熊谷市総合戦略」では、「1. 働く（働きたい）人が働き続け、暮らし続けられる雇用の創出」「2. 子育て世代等にとって暮らしやすく魅力的なまちづくりの展開」「3. 20代・30代を中心とした出産・子育てに関する希望の実現」の3つを基本目標に掲げている。市では従来から、「熊谷市男女共同参画推進表彰」や「熊谷市子育て支援優良企業認定制度」等、男女共同参画や子育て支援に取り組んできたが、総合戦略に掲げた基本目標も、同様にワーク・ライフ・バランスの重要性を示すものでもある。
- 従来からの市のワーク・ライフ・バランスの取組に加え、平成29年度から厚生労働省の「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」に参加し、市と厚生労働省の取組の相乗効果により、市内の企業がワーク・ライフ・バランスを推進することで人材確保を図り、地域を活性化させたいと考えている。

## 2. 取組内容

- 熊谷市では、今年度2回に分けて、年次有給休暇の取得促進の働きかけを行う。前期は7月20日～22日にかけて、延べおよそ75万人が集って開催される地域のイベントである「熊谷うちわ祭」、後期は10月18～19日の「妻沼聖天山秋季例大祭」、10月20日の熊谷市内小中学校の「秋休み」、11月14日「埼玉県民の日」といった地域のイベントや学校休業日に合わせた年次有給休暇の取得促進の広報活動を行う。



「熊谷うちわ祭」の様子  
(写真提供：熊谷市)



「妻沼聖天山秋季例大祭」の様子  
(写真提供：熊谷市)

### ●連絡会議の開催

- 取組の推進体制としては、経済団体、労働団体、社会保険労務士会、行政機関等、市内でワーク・ライフ・バランス推進にあたって中心的な役割を担うと期待される団体からなる連絡会議を設置した。
- 連絡会議では、休暇取得促進策の検討を行うとともに、地域のワーク・ライフ・バランスの進め方に関する意見交換を行っている。

### ●周知・啓発

- 周知・啓発用のリーフレットやポスターを作成し、主に商工会議所等の経済団体を通じて配布する。その他にも、市報や市内各自治会の班回覧等も通じて、広く市民への周知を行っている。
- これらに加え、後期活動においては、市教育委員会の協力を得て、市内小中学校の児童・生徒を通じてリーフレットを配布し、保護者への周知広報も行う予定である。
- 公共施設でのポスターの掲示、地元紙やフリーペーパーへの掲載等も合わせて行い、広く周知を行っている。
- その他、10月に実施するシンポジウムの内容を地元紙に掲載する等、地元のメディアも使って幅広く積極的な啓発に努める。

## ●事業場訪問での働きかけ

- ・ 社会保険労務士等の専門家の協力を得て、市内事業場を 80 箇所訪問し、年次有給休暇の取得状況の把握、「計画的付与制度」の説明やその活用による年次有給休暇の取得促進の働きかけ等を進める。

## ●シンポジウムの開催

- ・ 事業場における年次有給休暇取得促進を促すため、市内の事業主を主な対象としたシンポジウムを 10 月に開催する予定である。シンポジウムは 2 部構成とし、株式会社日本総合研究所首席研究員藻谷浩介氏による基調講演「熊谷市がワーク・ライフ・バランス先進都市となるために」及び事例発表として「熊谷市内企業のワーク・ライフ・バランス先進企業の紹介」を予定している。

## ●アンケートの実施

- ・ 11 月～ 12 月にかけて、事業場と従業員を対象にしたアンケート調査を実施し、今回の働きかけの効果や年次有給休暇取得促進の状況把握等を行う予定である。



### 年次有給休暇を活用して

## 熊谷うちわ祭

7/20(水)、21(木)、22(金)に出かけよう!

**家庭も会社も地域の一部。みんなで取り組もう!**

厚生労働省は、熊谷市と連携を図りながら、地域における休暇取得促進の働きかけを行う「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」を行っています。

7月20日、21日、22日に開催される「熊谷うちわ祭」など地域のイベントにあわせて年次有給休暇を活用してお祭りなどに参加する時間、家族と触れ合う時間、自分のための時間をつくるなど、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図りましょう。

**7月**

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

計画的付与で大型連休  
熊谷うちわ祭

**休暇の取得促進に向けて、労使が協力して**

- 経営のトップによる社内への休暇取得促進の呼びかけ
- 管理者が率先して休暇を取得
- 労働組合等による企業、労働者への働きかけ
- パースデー休暇や半日休暇など多様な休み方の検討

などに取り組みましょう。

**事業主の皆さまへ 年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しましょう!**

**年次有給休暇の計画的付与制度とは?**

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数については、労使協定を結べば計画的に休暇取得日数を割り振ることができる制度です。この制度を導入することによって、休暇取得の確実性が高まり、従業員にとっては予定した活動を行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営が可能になります。

お問い合わせ  
【厚生労働省 埼玉県労働基準事務所】  
埼玉県労働基準事務所 埼玉県労働基準事務所  
埼玉県労働基準事務所 埼玉県労働基準事務所  
〒331-8586 さいたま市北区吉野町2-282-3 ☎048-795-9332

平成 29 年度啓発リーフレット（前期）



### 年次有給休暇を活用して

## 妻沼聖天山秋季例大祭

10/18(水)、19(木)に出かけよう!

**家庭も会社も地域の一部。しっかり働き、しっかり休もう!**

厚生労働省は、熊谷市と連携を図りながら、地域における休暇取得促進の働きかけを行う「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」を行っています。

10月18日、19日「妻沼聖天山秋季例大祭」、10月20日の熊谷市内小中学校「秋休み」、11月14日「埼玉県民の日」など地域のイベントや学校の休日にあわせて年次有給休暇を活用してお祭りなどに参加する時間、家族と触れ合う時間、自分のための時間をつくり、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図りましょう。

**10月**

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

熊谷市内小中学校「秋休み」  
妻沼聖天山秋季例大祭

**11月**

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4			
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

プラスワン休暇  
県民の日

**休暇の取得促進に向けて、労使が協力して**

- 経営のトップによる社内への休暇取得促進の呼びかけ
- 管理者が率先して休暇を取得
- 労働組合等による企業、労働者への働きかけ
- パースデー休暇や半日休暇など多様な休み方の検討

などに取り組みましょう。

**事業主の皆さまへ 年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しましょう!**

**年次有給休暇の計画的付与制度とは?**

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数については、労使協定を結べば計画的に休暇取得日数を割り振ることができる制度です。この制度を導入することによって、休暇取得の確実性が高まり、従業員にとっては予定した活動を行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営が可能になります。

お問い合わせ  
【厚生労働省 埼玉県労働基準事務所】  
埼玉県労働基準事務所 埼玉県労働基準事務所  
埼玉県労働基準事務所 埼玉県労働基準事務所  
〒331-8686 さいたま市北区吉野町2-282-3 ☎048-795-9332

平成 29 年度啓発リーフレット（後期）

### 3. 今後の課題

- 今回、厚生労働省の「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」への参加は、市としてもワーク・ライフ・バランス推進に向けた取組の大きなきっかけにしたいと考えている。
- 事業場訪問等を通じて、サービス業からは「年次有給休暇の計画的付与の難しさ」を指摘する声も聞かれる。しかし、若い人の東京等への流出が多いことが、市の人口減少の要因の一つになっている。若い人の地元での就職を促すためには、今まで以上に事業主側にワーク・ライフ・バランスの重要性を認識してもらうことが欠かせない。
- 市内の事業主や従業員、学生等により一層関心を高めてもらうため、市の関わる他のセミナー等においてもワーク・ライフ・バランスをテーマとして取り上げること検討している。
- 取組初年度ということもあり、現時点では、今回の取組がどの程度の効果を生み出すか見通せない面もある。今後実施するアンケートを通じて効果について明らかになるので、その結果等を踏まえて、今後の対応についても検討が必要であると考えている。

**【事例照会先】熊谷市 産業振興部 商工業振興課**

〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1 直通電話：048-524-1470

URL： <https://www.city.kumagaya.lg.jp/>